



「(村山真由美代表)朗読会「真夏のお寺でよ」と怖い話」は20、北琴芝一丁目の命信で開かれた。夜の暗い堂に集まった30人が古怪談を聴いて暑さを和げた。

村山代表とメンバーの田あつしさん、役者の崎代志子さん、アマチア落語家の北野昌秋さんが手元の明かりを頼り朗読。22日までの3夜わたり異なる演目で楽しませている。

10月15日、桃山中

「トークフォークダンス」

生徒と対話する参加者募集

桃山中(糸本康浩校長)主催の「中学生と話そう!トークフォークダンス」は、10月15日午後1時20分〜3時10分に同校体育館で開かれる。生徒と対話する参加者を募集している。

トークフォークダンスは、フォークダンスのよろに順々に相手を変えながら、多様な人と短時間で対話を行う活動。大人との交流を通して、生徒が話す楽しさや社会の広さを実感し、将来の自分

た名作「牡丹(ぼたん)灯籠」、人の身勝手さがもたらす悲劇を描いた創作童話「赤いろうそく」と人魚」が披露された。それぞれのキャラクターが声だけで表現され、参加者たちは話の世界に入り込んでいた。

村山代表は「文学作品として怪談に興味があった。

り、お寺で朗読してみた」と、ずっと思っていた。それが初めて実現し、聴いて涼んでいただけて良かった」と話した。(中尾)

日本では最初の引揚港」を出版した。太平洋戦争後の国内最初の引き揚げ港である長門市仙崎港について、お寺で朗読してみた

をイメージするきっかけにしようことなどを目的としている。

当日は2年生100人が参加。大人と1対1で向かい合い「最近頑張ったこと」「将来やってみたいこと」「中学生のころの夢」といった身近なテーマについて、1、2分ごとに相手を変えながら話す。特別な準備や事前の打ち合わせは不要で、気軽に自身の経験や思いを語る人を求めている。

対象は、地域で働いている人や子育て経験者、年齢、職業を問わず中学生の未来を応援したい人。定員は100人で先

問い合わせは同出版(電話090-80067-9676)へ。(西田)

着順。締め切りは9月15日。

駐車場は同校グラウンドを利用できる。申し込み、問い合わせは同校(電話21-9141)へ。

交通事故発生状況21日

部署内	累計	増減	山口県内	累計	増減
人身事故	3件	(167件-53件)	9件	(1338件-87件)	
死者	0人	(1人-2人)	0人	(25人+7人)	
負傷者	3人	(184人-82人)	12人	(1568人-133人)	